

# 市長所信表明

10月30日開催の平成27年第1回あきる野市議会臨時会で、市長が所信表明を行いました(原文をそのまま掲載しています)。

本日、平成27年第1回臨時議会が開催されるに当たり、一言ご挨拶と所信の一端を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

去る10月4日の市長選挙におきまして、市民の皆様のご強いご支援を賜り、あきる野市長としての重責を担うこととなり、今、改めてその責任の重大さを強く感じているところであります。

さて、あきる野市は、今年二十歳を迎えたところであり、これが、これまでの歩みを止めることなく、成熟したまちへと着実に一歩一歩を進めて行くため

に、私は、次の六つの基本政策の下、堅実な行政運営に当たっていきたくと考えております。はじめに、「人口減少」に対する取組の強化です。

あきる野市の平成26年の合計特殊出生率は1.43で、東京都の区市の中で最も高い水準にあります。しかしながら、このままでは10年後の平成37年には高齢化率が30割台に突入するとともに、生産年齢人口の割合が60

割を割り込んでまいりますので、妊娠、出産、子育て等に対する切れ目のない支援、また、保育園や学童クラブの待機児童ゼロへの取組など、子育て支援を強化してまいります。

これは、現在、策定を進めている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における「人口ビジョン」と「総合戦略」にも密接に関係する施策となりますので、具体的かつ実効性のあるも

のとしてまいります。

また、人口減少や高齢化率と併せて社会問題となっている空き家対策について、総合的な対策の推進体制を整え、多様な課題の解決に取り組んでまいります。

二つ目に、「財政の健全化の推進」であります。

少子高齢化の進行により、社会保障関係経費が増加の一途を辿る一方で、市税収入が低迷する中、自主財源の確保を強化していく必要があります。そのため、企業誘致を始め、定住促進や不用品の積極的な処分、活用に取り組んでまいります。

併せて、現在策定中の公共施設等総合管理計画に基づき、合理的な施設管理や機能の複合化、機能転換、統廃合等についても、具体的に進めたいと考えております。

三つ目に、「福祉の充実」であります。

高齢化の進行により、今後、更に介護需要や入院需要の増加が見込まれる中、あきる野市の

「65歳健康寿命」が東京都の中で高い水準にあることは、市民の健康に対する意識の高さと、多くの取組の成果であると捉えております。去る17日には「健康のつどい」が開催され、「健康づくり市民推進委員会」や

「めざせ健康あきる野21推進会議」の皆様を始め、多くの市民の皆様が健康に対する意識の高さを肌で感じたところであり、今後もこのような健康の維持増進の取組に対する支援を行ってまいりたいと考えております。

さらに、日本人の死亡原因の1位である、がんへの対策の強化につきましましては、近年の医療技術の進歩により、早期発見でがん治療により生存率が大きく改善されていますので、「秋川流域がん対策議員連盟」や「阿伎留医療センター」との更なる連携強化を図りながら、医師会や歯科医師会などのご協力の下、

がんの予防や早期発見のために、がん検診等の受診率向上に向けて取組を強化してまいります。また、高齢者の在宅での生活

果、委員長に田嶋光男氏が再任されました。

## あきる野市選挙管理委員会委員が決まりました

選挙管理委員の任期満了に伴い、あきる野市議会第3回定例会での選挙の結果、次の方々が当選されました。  
なお、11月10日に開かれた選挙管理委員会における選挙の結果、委員長に田嶋光男氏が再任されました。

## 東京都消防褒賞を受賞

市消防団副団長の杉田保生氏が東京都消防褒賞を受賞しました。これは、消防団員としての長年にわたる献身的な活躍と数々の功績が認められたものです。



中山昌治さん



志村秀男さん



杉田保生氏

▽問合せ 地域防災課防災安全係

## 成人式のお知らせ



未来を築く成人の門出を祝して、成人式を行います。  
○日時 平成28年1月11日(月) 午前11時～11時50分(10時15分から受付)  
○場所 秋川キララホール  
○対象 平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方  
○申込み方法 成人を迎えられる方には、案内状を送付します。該当する方で12月4日(金)を過ぎても案内状が届かない方はご連絡ください。  
※現住所が市外の方で、市内の小・中学校を卒業し、あきる野市成人式に参加を希望する場合はご連絡ください。  
○問合せ 生涯学習スポーツ課生涯学習係(直通558-2438)

支援を充実させるため、在宅医療と介護の連携に向けた取組を推進してまいります。

これまでにない異常気象は、各地に大きな爪痕を残し、同時に行政の対応力が問われる状況にあります。このような中、9月には「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を策定したところであり、今後、より迅速かつ的確な市民の皆様への情報提供などに努めてまいります。

また、環境都市あきる野を更に前進させるため、「生物多様性あきる野戦略」に掲げる望ましい姿の実現に向けて、関係機関や各種団体等との関係を強化するとともに、あきる野生きも

一方、学校給食センターにつきましては、建物や設備の老朽化が著しい状況にありますので、できるだけ早期に新しい学校給食センターの整備に着手するとともに、小中学校の校舎や体育館における非構造部材の耐震化に引き続き取り組んでまいります。

地域経済力の強化のためには、産業の振興は不可欠であります。明日31日には、圏央道の桶川北本インターチェンジから白岡菟浦インターチェンジ間が開通することから、東名高速、中央道、関越道そして東北道が圏央道により一つに結ばれることとなります。

以上、六つの基本政策に沿って主な取組方針について述べてさせていただきます。議員各位並びに市民の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。